



たんざわおおやま
丹沢大山

**再生
目標**

人も自然もいきいきとした丹沢大山の再生

DATA

エリア：丹沢大山国定公園
所在地：神奈川県相模原市、山北町、松田町、秦野市、厚木市、伊勢原市、愛川町、清川村
着 手：H16

丹沢大山自然再生委員会

概要：ブナ林の立ち枯れ、林床植生の退行、オーバーユースによる影響などが顕著。生物・人間・環境相互間のつながりの解析を行い丹沢地域のさらなる自然環境の保全・再生を検討。



シカの剥皮



ブナ林の衰退



林床植生の退行



登山道の荒廃

丹沢大山国定公園は、日本百名山の丹沢山やゴヨウツツジが美しい檜洞丸などの山々が連なり、ブナの原生林やツキノワグマ、ニホンジカなどの大型哺乳類がみられるなど、首都圏近郊にありながら豊かな自然を残しています。また、年間 300 万人以上が訪れるとともに、神奈川県の水源地としての役割も有しています。

しかし、同地域では大気汚染などの複合的要因によるブナの立ち枯れ、シカの過剰な採食圧による林床植生の退行、人の踏圧による裸地化等が見られています。このため、自然環境のモニタリングやこれまで実施してきた保全対策の検証をはじめとして、生物・人間・環境相互間のつながりを解析し、さらなる自然環境の保全・再生等に向けた取組みを進めています。



ツキノワグマ（撮影：山口吉盛）

自然再生の手法

- ▶ 希少動植物の回復→①
- ▶ 流域単位の健全な森林・溪流の保全→②
- ▶ 地域資源を活かした循環型社会づくり→③
- ▶ 県民に利用可能な情報システムの構築→④

自然環境のモニタリングや過去に実施した保全対策の検証に加え、自然環境にとどまらない生物・人間・環境相互間のつながりを調査・分析し、地域住民、NPO、企業等との協働により地域資源を活かした循環型社会づくりを目指します。



関連ホームページ

e-Tanzawa（自然環境情報ステーション）：<http://www.e-tanzawa.jp>

① 生きものの再生調査

希少種の保全などの課題解決と生物多様性保全の観点から、自然再生の目標を見極めることを目的として、各種分類群について詳細な生物調査を行い、生態系の現状と課題の把握、保全すべき種の抽出、保全優先エリアの特定、保全対策などを検討しています。



ブナ調査のためのツリータワー

② 水と土の再生調査

オゾン濃度、水流出量・水質、長期間の崩壊地推移、土壌浸食量等の調査を行い、ブナ林の再生適地判定、土壌保全対策、流域の総合的保全のあり方等を検討しています。

③ 地域の再生調査

地域の資源、産業、文化等に関する情報を整理・分析し、現状と課題を把握して、地域住民や利用者など、多様な関係者との協働により地域再生の行動計画を検討しています。

④ 情報整備

各調査結果から得られた自然環境情報を GIS データベース化した自然環境情報ステーションを構築し、自然環境診断や総合評価に活用しています。